

市民との意見交換会・報告書

開催地区：城西地区	開催日時：令和7年5月9日（金） 18時30分 ～ 20時20分
担当班：第1班（出席議員）大竹俊哉、笹内直幸、長谷川純一、大山享子、松崎新	
開催場所：城西コミュニティセンター	
参加人数：男性 16名、女性 4名、合計 20名	
<p>会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など</p> <p>1. 意見交換の総括</p> <p>(1) 議会報告、市政全般についての総括</p> <p>① 2月定例会議について ごみ処理の有料化について、ごみ焼却施設の処理量を少なくしたから、ごみ処理の有料化が行われたのではないかという問題認識のある方から、新たなごみ焼却施設は、なぜごみ処理量を少なくするのかという意見が出された。</p> <p>② 市政全般（市のまちづくりに向けた課題）について 人口減少が止まらない、若い方の意見を取り入れた雇用の場を確保すべきとの意見が出された。</p> <p>(2) 地区別テーマについての総括</p> <p>① 地区別テーマ ゼロカーボンシティ、ごみの減量化や再資源化だけでなく、広い意味での地球温暖化対策として、二酸化炭素削減について考えないといけないとの発言があった。</p> <p>② テーマ設定の理由、背景 市が進めているゼロカーボンシティ、ごみ減量化や再資源化について、城西地区の各家庭や団体で取り組んできた経過について意見を聞く場として意見交換の場を設けた。</p> <p>③ 主な地域課題 材木町「ごみゼロマーチ実行委員会」が取り組んできた事業を報告していただき、キューロやコンポスト利用の取組経過と結果について報告と発言があり、ゼロカーボンシティについて深めることができた。</p>	

会津若松市議会議長 様

令和7年5月30日

会津若松市議会市民との意見交換会実施要領第2項第11号の規定により提出します。

予算決算委員会委員長 大竹 俊哉

意見交換会第1班 代表者 大竹 俊哉

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
ごみ焼却炉について、なぜ広く作れなかったのか。	ごみ処理施設の整備は市ではなく、会津若松地方広域市町村圏整備組合が行っている事業である。焼却炉が大きいものを作れば、それだけ財源が必要となる。ごみの排出量を精査し、再生資源などについて協議が重ねられ、当初の計画から費用が減るように進め、現在のごみ焼却施設の建設になった。	○	①		環境
会津から輸出できるような米は作れないのか。	現在も行っている。会津産の農作物の輸出は増えていく可能性もある。	○	①		農業
材木町を流れる小さい川が臭い。川の水が流れていないので、なんとかしてほしい。	以前は農業用水路として活用されていたが、現在は下流に農地がなくなったので、水量調整で水が流れていない状態となっている。	○	①		環境
風力発電事業について、風車が50基建設予定だが、市はどう考えているのか。	背炙山の風力発電事業については、これまでも多くの意見が出されている。この課題を議長に報告し、議長の発議で研修会を開催してきた。 議会としては、市民や事業者からの意見要望について向き合い、最終的には議員で考え、議会で判断することになる。	○	①		環境
つながりづくりポイント事業が市の直営に変更されたのはどうしてか。	安定的に運営できる体制づくりを構築する必要があると考え、市の直営で実施するようになった。	○	①		高齢福祉
人口減少が止まらない。若い市民の意見を取り入れてほしい。そして、一度出ていった若い人たちが戻ってきやすい会津若松市になってほしい。	このままだと会津若松市がなくなってしまうとの声もたくさん聞いている。ただ、秘策も現在はない状況の中で、できることを少しずつでも進めていきたいと思う。	○	②		まちづくり
新庁舎のエレベータ前に案内板があれば分かりやすいのではないかと。また、視覚障がい者の方へもっと配慮するためにも、点字ブロックを増やしてほしい。	全体的に分かりやすい庁舎でなければいけないと思う。市へ報告して改善してもらえるか伺う。	○	②		行政

○ 地区別テーマでの意見交換について → ゼロカーボンシティについて

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	城西地区では、どのようにごみ減量に取り組んできたのか伺いたい。また、材木町で行われている特徴的な活動「材木町ごみゼロマーチ」について、その活動を行っている代表の方に報告をお願いします。			
<p>私は材木町ごみゼロマーチ実行委員会の委員長をしている。材木町ごみゼロマーチの背景として、3月になると溶けた雪の下からごみが出てくることが多く、その状態のまま4月になると新学期が始まり、新1年生はごみが放置された通学路を歩くことになる。これではさみしいなと思い、ごみ拾いを始めるきっかけとなった。</p> <p>また、材木町に子育て世帯も多く転居してきているが、その住民同士の交流ができていないと感じ、ごみ拾いを通じて、町内での交流になればと思った。</p> <p>これまでの実績として、第1回目は令和6年3月31日に開催し参加者が61名で、第2回目は令和6年8月4日に開催し参加者が87名だった。この日は祭礼の翌日で、祭り後に結構ごみが出るため開催した。3回目は令和7年3月30日で参加者が76名となった。</p> <p>町内回覧板や、城西こどもクラブへ依頼し、チラシを各家庭へ配布するなどの周知活動を行った。参加申込はチラシのLINE用QRコードから受付し、詳細は、そのLINEで配信した。</p>		○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → ゼロカーボンシティについて

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>また、当日の受付時に、養生テープへ名前を記入していただき、同じ班の方同士が名前を読み上げられる関係を作った。ごみ拾いが終わった後は、実行委員で用意したワッフルと飲み物をプレゼントした。第2回目は8月で、かき氷も準備し参加者へ振る舞った。小学生の参加者には鉛筆を作成しプレゼントした。なお、開催資金として町内の方から協賛をいただいた。</p> <p>さらに、別の事業として、城西コミュニティセンターで未就学児と小学生向けのワークショップを開催した。今回持参した絵は、「会津から海ごみを考えよう」というテーマで、4グループに分かれて描いてもらったもので、第四中学校美術部の皆さんにご協力いただいた。</p> <p>他にも、城西小学校のボランティアによる絵本の読み聞かせも今回3月に実施した。連携団体は材木町一丁目青年会、材木町こども会育成会、(公社)会津青年会議所、第四中学校美術部、城西小学校ボランティアとなっている。</p> <p>今後も続ける中で、サブテーマ「子どもも大人もじっちもばっばもみんな一緒にごみ拾い」を掲げ、幅広い年代の方に参加していただき、地域の交流ができればよいと考えている。また、城西こどもお囃子会の子どもたちにとくさん参加していただいた。</p>		○	②	
<p>参加者からは、普段会えない方など、特に年齢も違う方と交流できて良かったという声をいただいた。また、材木町ごみゼロマーチに参加した小学校4年生の女の子がこの活動を題材にして、市民憲章作文コンクールで優秀賞になった。</p>		○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → ゼロカーボンシティについて

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
	今後、継続していくために、どのように取り組む予定なのか聞かせてほしい。			
正直なところ、今の規模で進めているのが丁度よいと思い、この規模で続けていこうと考えている。また、市の課題であるごみ減量につなげていきたいと思う。例えば、料理が得意という有名な方をお招きし、台所からごみを出さないような授業を行い、子どもたちがごみ減量について考える機会になればよいと思う。		○	②	
材木町ごみゼロマーチの活動は、とても素晴らしいことだと思う。子どもたちがごみを捨ててはいけないと実感でき、身につけることができていると思う。		○	②	
実行委員長から今の規模が適正と発言があったが、これを城西地区全体で行うことや、会津若松市全体で、子どもからおじいちゃん、おばあちゃんも含め、せめて1時間くらいでやりたいという夢がある。実現してもらいたい。	私も参加させていただいたが、あまり話す機会がない子どもたちや保護者の皆さんと、ごみを拾いながら話や意見交換ができたり、新しい仲間づくりにもつながる印象があつた。ごみの減量にもつながりとても良い活動だと思う。	○	①	
ごみゼロマーチの開催で、受付時に養生テープに名前を書いて、ネームプレートとして使用したことだが、個人情報だからやりたくないなどの声はあったか。 ⇒参加者からご理解をいただいていたので、そのような声はなかった。 ⇒令和6年の8月開催では、朝8時から9時まで行ったが、思いのほか暑く大変だったので、今年は9月開催を検討している。		○	②	

○ 地区別テーマでの意見交換について → ゼロカーボンシティについて

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>町内会とごみゼロマーチ実行委員会との連携はどのように行われたのか。</p> <p>⇒事前に町内会長へ話をしており、回覧板などで周知の協力をお願いしたが、町内会と会議などはしていない。</p> <p>⇒町内会では特に関わっておらず、相談を受けて、回覧板で周知する程度。後はこども会やお囃子をしている子ども、保護者へ周知し、参加してもらった。</p>		○	②	
	<p>家庭ごみの減量について、キエーロを持参したので説明する。（「ごみ減量ガイドブック」を配布し説明） （2ページ） こちらに家庭の燃やせるごみの内訳があるが、特に生ごみが51.3%と非常に多いので、市ではこのキエーロを使った、家庭ごみの減量を推奨している。 （5・6ページ） キエーロについて説明が記載してある。土はホームセンターで売っているもので問題ない。この土の中に、調理で出た生ごみを入れると、1から2週間ほどで分解されてなくなる。 （8ページ） 分解しやすいものが記載されている。肉や魚や麺類は分解されやすいが、玉ねぎの皮や大きな骨、種などは分解されにくくなる。</p>			

○ 地区別テーマでの意見交換について → ゼロカーボンシティについて

【分類】 ●議会に関するもの ○市政に関するもの 【番号】 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会（議員）の発言内容	処理状況		
		分類	番号	対応
<p>キエーロの土はどのくらい買えばいいのか。</p> <p>⇒この容器に入る分の土を買ってあげればいいのか、10キロくらいで大丈夫だ。自分は細かくして入れている。そうすると分解も早くなる。</p> <p>⇒私は畑でゴミを分解している。</p> <p>⇒私はコンポストを6つ所持しているので、生ゴミを順番に入れている。</p>		○	②	
<p>ゼロカーボンシティについて、二酸化炭素などの温室効果ガスの排出量の数値は、しっかり測らないといけないのではないか。</p>	<p>理論値で測っている。</p>	○	①	